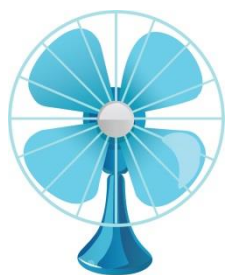


たんぽぽ通信

2016
July

Vol.82 2016年7月10日発行 たんぽぽ薬局五本木店

プール熱について



夏になりプールが始まると話題になるのがプール熱です。

正式には咽頭結膜炎といいます。原因はアデノウイルスという微生物の接触感染による病気です。

抵抗力や免疫を作る力が弱いと感染、発症しやすくなるため、小さな子供がよくかかります。ちょうど幼稚園や学校などで、

プールに入る機会の多い夏の時期に流行するため、この名前がつけました。

今回はプール熱についてお話しします。

【主な症状】

1. 咽頭（のど）が赤く腫れる のどが痛い
2. 結膜炎がおこり、目の痛み、痒み、目やにが多くなる
3. 高熱（39度以上）が3～4日続く

【治療方法】

特効薬はありません。そのため、痛みをとったり、熱を下げたりする対処療法がメインとなります。



【一般的な治療薬】

- ・高熱に対しては解熱剤
- ・頭痛やのどの痛みには抗炎症剤や鎮痛剤
- ・目の症状にはステロイド点眼薬

【その他中止しておきたい点】

のどの痛みがあるため水分を取りたがらない時は、脱水症状に気をつける必要があります。

プリンやゼリー、アイスクリームなど食べられそうなものを与えます。少し食欲がでてきたら、うどん、おかゆなど軟らかいものを食べさせるとよいです。

【予防法】

- ・プールから上がった後よく目や手を洗う。
- ・家ではタオル、洗面器など家族と共用しない。
- ・症状が消えても2日間は学校を休み、友達との交流も控える。



以上3点を心がけ楽しい夏を過ごしましょう。

たんぽぽ通信からのお知らせ

ご質問、ご意見などございましたらお近くのエムトゥエムの調剤薬局にご相談ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

